競　技　注　意　事　項

 １　競技規則について

 本大会は、２０２２年度日本陸上競技連盟規則によって行う。

 ２ 招集について

 （１）競技者招集所は、スタンド下雨天練習場に設ける。

 （２）招集完了時刻は、下記の通りとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 招集開始 | 招集完了 |
|  | ４０分前 | ２０分前 |
| フィールド競技 | ９０分前 | ６０分前 |

 （３）招集完了時刻に遅れた者は当該競技種目を棄権したものとみなす。

 （４）招集の手順

 （ア）競技者は招集所に掲示した用紙に、本人又は代理人がチェックする。

 （イ）最終点呼は現地で行う。その際にアスリートビブスの確認を受ける。

 （ウ）代理人による最終点呼は原則として認めない。但し、２種目を同時に兼

　　　　　　　　　ねて出場する者は、あらかじめ、競技者係に申し出ること。

 （エ）リレー競技に出場するチームは、競技開始の１時間前までに招集所にオー

　　　　　　　　　ダー用紙を提出すること。なお、オーダー用紙提出は招集を受けたことに

　　　　　　　　　はならないので、改めて、２０分前までに招集を受けること。

 （オ）棄権する者は、招集所に用意している棄権届に必要事項を記入し、招集開

　　　　　　　　　始時間までに招集所に提出すること。

 ３　競技用靴について

 （１）スパイクは平行ピンとする。長さは９mm以下とし、走高跳及びやり投げの場合は

　　　　　　１２mm以下とする。本数は１１本以内とする。

（２）フィールド競技用シューズのＴＲ５．１３．３については適応除外（国内ルール）

とする。これにより、靴厚底の確認の計測は行われない。ただし、国際大会に出場

する場合、当該競技の競技者に限り靴厚底の確認を実施することがある。

 ４　アスリートビブスについて

 （１）アスリートビブスはユニフォームの胸部と背部につける。但し、走高跳、棒高跳、

　　　　　　走幅跳、三段跳に出場する選手は、胸部又は背部だけでもよい。

 （２）トラック競技の出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、

　　　　　　パンツの右側後方につける。腰ナンバーカードは競技終了後、速やかに競技者係

　　　　　　に返却すること。

　５　競技の抽選ならびに番組編成について

 　 （１）トラック競技の準決勝・決勝については、番組編成係において公平に組合せ、

　　　　　　レーン順を決め、掲示板に掲示する。

 （２）トラック競技においてプラス出場者を決める時、その最下位で同タイム者が出

　　　　　　た場合は下記の方法で決める。

 　 ・100m､200m､400m､800m､100mH､100mYH 110mJH､400mH、4×100mR、4×400mR

 　 同タイム者については、写真判定を拡大し、着差ありの判定をする。

 　　　　　　　　　 それでも判定できないときは、本人又は代理人によって抽選する。

 　 ・1500m

 　 同タイム者は次のラウンドに進める。

　　　（３）写真判定装置不作動の場合は、その種目の当該ラウンド全組を手動計時に変え

　　　　　　着順優先で決定する。

 　（４）リレーに出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。

 ６　競技用具について

 　 棒高跳用のポール及びやり、円盤、ハンマーで持参した物については、検定の上使用を認める。

 ただし、ポール、円盤、ハンマーについては現地で検定を行う。やりについては１００mスタ

ート地点用器具倉庫前にて、競技開始１時間前に検定を行う。

 ７　走高跳、棒高跳のバーの上げ方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 男子　走高跳  | 1m45（練習）1m60（練習）1m80（練習） | 1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m83（以降3cm刻み） |
| 女子 走高跳  | 1m10（練習）1m30（練習）1m45（練習） | 1m20-1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m48（以降3cm刻み） |
| 男子 棒高跳女子　棒高跳 | 2m40（練習）4m00（練習）2m40（練習）2m60 | 2m40-2m60-2m80-3m00-3m20-3m40-3m60-3m80（以降10cm刻み）2m40-2m60-2m80-3m00-3m10（以降10cm刻み） |

 　 ・順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では２cm、棒高跳では５cm

 ・天候の状況次第では、バーの上げ下げの変更もある。

 ８　フィールド種目の計測ライン及び計測方法・決勝試技について

 （１）フィールド種目の計測ラインについては、特に設けない。

 （２）投擲種目については、１cmきざみで計測する。

 （３）投擲・跳躍種目での決勝ラウンド試技順序は、記録の低い者から実施する。

 （４）男子Ｂ砲丸投は５ｋｇ、男子Ｂ円盤投は１．５ｋｇとする。

 ９　その他

 　 （１）本大会は事前に配布した資料にもとづき、新型コロナウイルス対策を行うこと。

（２）開会式・閉会式は実施しない。

（３）各種目の表彰式は実施する。表彰を受ける生徒の待機場所は雨天練習場とする。

（４）雨天練習場での練習は禁止とする。

（５）生徒が競技場に出入りする場合は１００ｍスタート付近と１００ｍゴール付近の２カ　　　所のみとする。（正面玄関は通行できない）

（６）応援については蜜を避けるよう十分な距離をとり、拍手のみとする。また、長距離種

　　　目でのラップを伝えるなどは禁止する。フィールド種目の応援についても選手のかけ

　　　声に合わせて応援者が声を出すことは禁止する。

　　　　（７）７項については気象状況により変更することもある。

 　（８）投てき競技に出場する選手は、役員の指示に従い、事故防止に留意すること。

 （９）予選がなくなった場合には、決勝の時間に決勝のレースを行う。

 　（10）大会期間中競技場で生じた傷害や疾病は医務室で応急処置を行う。

 　（11）高体連の規定により、引率教師のない学校の出場を認めない。

 （12）県大会出場資格

　　　　　　　　・Ａ種目上位４位まで

　　　　　　　　・Ｂ種目上位２位まで

 ・リレー種目、共通種目上位６位まで

・競歩４位まで